

北海道  
千歳市

## 株式会社ラルズ



セントラル



スーパーアークス千歳店

「八ヶ岳連峰経営」を軸に  
企業連合がともに成長

アークスグループは、北海道・東北・北関東に拠点を置くスーパーマーケット10社(372店舗)と、その他の事業会社1社からなる。同じような規模の山々が横に連なることで企業とお客さまの距離を短く保ち続ける「八ヶ岳連峰経営」を標榜し、地域の食生活を支えている。

また、地球にやさしい店舗づくりも進めており、植樹や太陽光発電の導入、店舗改装時に環境負荷の少ない設備への転換などを積極的に実施している。

オール電化空調への転換で  
省エネルギー&環境負荷低減

新千歳国際空港を有し、北海道の玄関口でもある千歳市に位置する「スーパーアークス千歳店」は、アークスグループの中核企業である株式会社ラルズが運営している。1996年に大型スーパー「ビッグハウス千歳店」としてオープン以来、地域住民に親しまれて

きた。

2021年2月の冷凍機・空調機の更新にあわせて、品数も増やして食品鮮度のよさを売りに「スーパーアークス」へ業態変更をとともなう改装を実施した。この際、北海道電力による省エネルギー診断を受診し、エネルギー消費量の変化も計測している。屋外灯のLED化により消費電力量が半減した他、環境配慮型冷媒を用いた新しい冷凍機はインバーター制御などによる運転効率の向上により、消費電力量が低減したことを確認した。

空調は、新築時から熱源として吸収式冷温水機(A重油)を使用していたが、環境性向上などの観点から電気式ヒートポンプにリニューアルされた。この更新により一次エネルギー消費量

は34%削減、CO<sub>2</sub>排出量は42%削減され、環境に大きく貢献するものとなっており、店舗の快適性の向上や空調運用の効率化も実現した。

今後は電気式ヒートポンプの電力計測データを基に、ピークデマンドを低減させる負荷平準化運用を検討するなど、引き続き省エネルギー、環境負荷低減を目指していく。

## 一次エネルギー消費量削減効果

従来システム 重油焚吸収式冷温水機  
一次エネルギー消費量:2,275GJ

採用システム 電気式ヒートポンプ空調  
一次エネルギー消費量:1,492GJ

従来システム

採用システム

-34%

(諸元)実測結果に基づく年間シミュレーション比較  
一次エネルギー換算値  
※電気(全日) 9.76 MJ/kWh ※A重油39.1 MJ/ℓ  
※「エネルギーの使用の合理化に関する法律施行規則」



空冷ヒートポンプ

## スーパーアークス千歳店

所在地:北海道千歳市日の出1-1-66  
延床面積:2,999㎡  
竣工:1996年開店、2021年改装  
URL: <http://www.arcs-g.co.jp/group/raise/shop/information/?id=21>

## ■ 設備概要

空冷ヒートポンプ(ビル用マルチ)  
暖房能力37.5kW×8台  
【東芝キャリア】

